

研究・調査報告書

報告書番号	担当
20	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol, smoking, and body size in relation to incident Hodgkin's and non-Hodgkin's lymphoma risk. 飲酒、喫煙、体格とホジキンおよび非ホジキンリンパ腫発症の危険性の関連	
執筆者	
Lim U, Morton LM, Subar AF, Baris D, Stolzenberg-Solomon R, Leitzmann M, Kipnis V, Mouw T, Carroll L, Schatzkin A, Hartge P.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Epidemiol. 2007 Sep 15;166(6):697-708.	
キーワード	
喫煙、飲酒、体格、リンパ腫、前向き研究	
要旨	
<p>目的：</p> <p>近年の研究の大半は症例対照研究もしくは数症例による前向き検討である。本研究ではリンパ腫と飲酒、喫煙、体格の関連を大規模な前向きコホート研究にて検討する。</p> <p>方法：</p> <p>前向き研究 National Institutes of Health- former American Association of Retired Persons (NIH-AAR) Diet and Health Study における 50- 71 歳の男性 285079 人、女性 188905 人において 1995 - 2000 年の癌登録との結合により組織診断によりホジキンリンパ腫(n = 58)、非ホジキンリンパ腫(n = 1381)と診断された者を症例とし、ベースライン調査時の質問表により生活様式とリンパ腫発症の関連を評価した。</p> <p>結果：</p> <p>平均 4.3 年間の追跡にて、ホジキンリンパ腫男性 43 人、女性 15 人、非ホジキンリンパ腫男性 958 人、女性 423 人を確認した。非飲酒者と比較して飲酒者は非ホジキンリンパ腫の相対リスク(RR)が低かった(RR = 0.77, 95%信頼区間(95%CI): 0.59 - 1.00, 飲酒者における傾向性の P = 0.02)。非喫煙者と比較すると喫煙者と過去 4 年以内に禁煙した者はホジキンリンパ腫の危険性が高く(RR = 2.25, 95%CI: 1.04 - 4.89, RR = 4.20, 95%CI: 1.94 - 9.09)、一方、喫煙者と過去喫煙者は濾胞性非ホジキンリンパ腫の危険性が低かった(RR = 0.67, 95%CI: 0.52 - 0.86)。重度肥満(body mass index \geq 35) (RR = 1.29, 95%CI: 1.02 - 1.64)と高身長,(RR = 1.19, 95%CI: 1.03 - 1.38)は非ホジキンリンパ腫と中等度関連を認めた。</p> <p>結論：</p> <p>これらの結果から、喫煙、飲酒といった生活様式の因子や、身体測定値はリンパ腫の病因に一部影響を与えている可能性が考えられた。</p>	